



燦さんらん 爛

今週はたくさんの お客様が来校

7月に入り、暑さがますます増してきた今日この頃です。学校では、今年も7月から「スーパークールビズ」と称してTシャツ、ハーフパンツでの登校もOKにしました。生徒たちには好評で、全員が涼しい服装で学校生活を送っています。さて、今週は多くの方々が本校に来てくださいました。

福島県中島村 学力向上研修視察



7月4日(火)、福島県中島村から小・中学校の先生やPTA会長さんなど5名の皆様が本校に視察にいらっしゃいました。中島村は、2小学校、1中学校という、西中学区と似た環境の地域ですが、児童生徒数は、本地区の2倍くらいいるとのことでした。



皆さんは、大仙市の学力向上に向けた取組を知るために今回視察に訪れたそうですが、本校では、教育専門監の三浦先生による2年生の数学の授業を参観されました。1人1台端末を使い、様々なアプリを連携させながら、1次関数の変化の割合の性質について考えるものでしたが、「生徒たちが1人1台端末を上手に使いこなしており、将来社会に出たときに大きなアドバンテージになる力を既に身に付けていると感じた」「授業規律が立派であることに感心した」「話し合いが活発で、日頃から言語活動を大切にしていることがうかがえる授業だった」といったご感想をいただきました。

7月5日(水)に、PTAが開催されました。7月のPTAは、授業参観は行わず、学年別の講習会や講演会と学年懇談という内容でした。

PTA学年別講習会・ 講演会・学年懇談



1年生は「情報モラル講座」でした。KDDIの岩淵さんと大仙警察署の関さんを講師にお迎えし、実際にあったネットトラブルの事例を動画で見ながら、その問題点について親子で考えてもらうものでした。これから夏休みに入り、ゲームやインターネットの利用時間が増えることが考えられることから、「ゲーム依存・ネット依存にならないようにルールをしっかりと守り、利用をコントロールすることが大切である」ことや、「ネットを通じて悪意をもって近付いてくる人間もいるので、自分の情報(画像も含め)をネットにアップしたり、人に送ったりしてはいけない」といったお話がありました。

2年生は「救急救命講習」でした。大曲消防署から4名の救急救命士の皆さんが来てくださり、人が倒れたときに近くの人に助けを求めたり、心臓マッサージを行ったりすることをグループごとに指導していただきました。生徒も保護者の皆さんも、真剣な表情で取り組んでいましたが、実際の場面で大きな声を出すことは勇気がいることですし、救急車が到着するまで(大曲消防署管内では、平均10分かかるといいます)心臓マッサージを続けるのは体力が必要なことも実感していたようです。



3年生は、生和堂医院の伊藤晴通先生を講師にお迎えしての「性教育講話」でした。若いときに培ってほしい「自己肯定感(自尊感情)」「コミュニケーション力」「真実を見極める力(リテラシー)」を中心としたお話をしていただきました。「自分を大切にできるようになる」「家庭が人間力の出発点である。家族団らんを大切に」「相手を思いやるのがコミュニケーションの基本」など、我々大人にとっても大切なことを教えていただけたように思います。

その後の各学年懇談では、4月からこれまでの振り返りや、夏休みの学習・生活について、今後の学年行事についてお伝えさせていただきました。お忙しい中お集まりくださった皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

学校評議員会

7月6日(木)、今年度1回目の学校評議員会を開催しました。4名の評議員の皆様にご来校いただき、授業参観と懇談会を行いました。



授業は、各学年とも総合的な学習の時間でしたが、1年生は個人ごとの課題別学習の様子を、2年生は職場体験学習に向けた電話連絡の仕方を練習する様子、そして3年生は将来に向けた面接練習の様子を見ていただきました。

その後の懇談会でいただいた感想やご意見の一部を紹介します。

- ・教室に掲げられていた各学年ネームが素敵で心に残った。
- ・1,2年生がタブレットを使っているのを見て、ペーパーレス化が進んでいる現代の流れに沿った活用がなされていると感じた。

・デジタル化も必要だが、実際に書くことや、紙の辞書を引くことでより記憶に残ることもあるので、大切にしてほしい。



6月29日(木)の放課後、中学校サミットのリモート会議が行われました。

本校からは、生徒会執行部の4名が参加しました。3年生にとっては、この日1回目となった実力テスト直後の会議となりましたが、疲れた表情も見せずに、しっかり参加していました。



実際に大仙市内の各中学校の代表が一堂に会する「中学生サミット」は、8月8日(火)にふれあい文化センターで開催されることになっていますが、本校を含む旧大曲市内の中学校が今年度の当番校となっており、そのための事前打ち合わせも今後リモートで進められる予定になっています。8月のサミットに向けて、当番校としての準備もしっかり頑張りたいと思います。



小学生・中学生が一緒に 元気なあいさつで出迎え



内小友小(写真左)と大川西根小(写真右)で元気なあいさつ

今月から、小中連携活動の一つである「あさがお運動」がスタートしました。

これは、小学生と中学生がともに登校する児童生徒を元気なあいさつで出迎えるを通して、地域を明るくするようなあいさつを実践できるようにすることや、各校の児童生徒があいさつを通して交流を深め、よりよい人間関係を築いていくことを目的として行っているものです。この運動の名称「あさがお」は、「**あ**いてより **さ**きに **が**っこう以外でも **お**おきな声で」というスローガンから名付けられたものであり、日頃のあいさつもこうしたことを心がけて行っていこうと確認しているものです。

今年度の1回目が、7月6日(木)に行われました。内小友小と大川西根小にはそれぞれ5名の生徒が出向き、小学生と一緒に元気なあいさつをしてくれました。基本的には出身小学校で活動することになっていますが、小学校経由の登校では遠回りになってしまう生徒や、自転車での学校間移動が難しい生徒などは、西中の校門前であいさつ運動を頑張ることにしています。この日は6人の生徒が、校門前であいさつを頑張ってくれました。

今年度のこの活動は、9月末まで計5回実施する予定になっています。1回目より2回目、2回目より3回目…と、この活動を通して、西中学区の子どもたちの明るいあいさつの輪が、どんどん広がってくれることを期待しています。



西中の校門前で

